



高知県で20年余り暮らすイギリス人男性が「第71回県展」の写真部門に初出品し、入選を果たした。アーサー・デイビスさん(50)＝高知市。「一生懸命頑張っている高知の人を発信していきたい」と、作品の前で笑顔を見せた。  
(竹村朋子)

71回  
県展

アーサーさんは同国南部サセックス州生まれ。子どものころからカメラやロッククライミングを楽しむなど活動的で、20代前半の時に旅行で訪れたトルコで妻の洋美さんと東京都出身と出会い、日本に関心を持った。英シエフィールド大で日本語を学ぶなどした後、1996年7月末、国際交流員として土佐清水市に赴任した。若い海や唐人駄場など自然豊かな同市に魅力を感じ、「多くのの人に来ても

## アーサーさん初出品入選 英出身 県内在住20年



### 頑張る土佐人 写真で発信

「りたい」と野外音楽イ ベントの開催を支えるな 水や高知の魅力を伝えき としてきた。3年間の任 れていない」と同市に住

み続け、地元森林組合や 宿泊施設で勤めたり、外 国語指導助手(ALT)を したりしながら高知県 の情報や風景をインタ ーネットに掲載。ジョン 次郎の顕彰団体のメンバ ーでもあり、現在は同市 と高知市を行ったり来た りしながらブログ「あし ずりアート」で日本語と 英語で発信している。

県展は友人が洋画や工 芸作品を出品しており、 身近な存在だったとい う。「コンテストには興味 はないが、県展は別。高 知県で暮らす一人として 作品を出したかった」と、高知の人々を撮影し た「ヒープル オブ コ ウチ」シリーズの中から 3点を出品した。

入選したのは、顔面保 護具を着けた作業着姿の 人が溶接の火花を散らし ているモノクロ写真。ア ーサーさんがALTとし て勤務する須崎工業高校 で写したものだ。生徒はみんな一生懸命 取り組んでいるのです が、その中で特に彼が全 ての力を注いで作業に向 かっていくのを感じた。

入選の知らせに「ほっ としました」とアーサー さん。「県内の写真愛好家 の人たちと一緒に展示し てもらったことがうれし い。皆さんのレベルが高 いので、自分も同じぐら いのレベルになりたい」とこれからの目標を挙げ、「高知の素晴らしい自 然の中で育まれた人たちが頑張っている姿を発信 することで世界中から高 知に足を運んでもらえる ようになれば」と声を弾 ませた。



アーサー先生県展入選!